



## 【学校教育目標】

ふるさととつながり、仲間とともに

“在りたい未来”を創造する広谷っ子の育成

## 2学期のおわりに

2学期が終わりました。2学期の終盤は、インフルエンザ感染拡大により体調を崩す子が増え、心配な状況が続きました。学年・学級閉鎖の措置をとった学年や、期末懇談会について日程の変更をお願いした学年もあり、ご家庭にご負担やご迷惑をおかけすることとなりました。急なお願いにもかかわらず、各ご家庭で対応いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

厳しい暑さだった8月に始まり、気温差が30度以上にも及ぶ、長い長い2学期でした。この間、子どもたちには、調子の良い日もあれば、思うようにいかない日もあったことでしょう。しかし、広谷っ子たちは、毎日の学習や生活、そして多くの行事を通して、「実り」という言葉がふさわしい成長を遂げました。おかげさまで、2学期に実施した教育活動は、それぞれに確かな成果を上げて終えることができました。本当にありがたいことです。

保護者並びに地域の皆様には、2学期も本校教育に対し格別のご理解とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。どうか健康にご留意いただき、良いお年をお迎えください。

## 「冬休み そうあंकんの日大作戦」の取組について

「そうあंकんの日」の取組については、毎回ご家庭で協力いただき、ありがとうございます。冬休みには『そうあंकんの日大作戦』を実施します。冬休み中は“毎日がそうあंकんの日”として、お手伝いや読書、自主学習等に主体的に取り組んでほしいと思います。

1・2年生用と3～6年生用のカードを、それぞれ配布していますので、取組の様子を記入させていただき、保護者サインの上、始業式の日に提出してください。

毎回提出される「そうあंकんカード」を楽しみに読んでいます。家族への思いやりにあふれた感想や、生活の中に息づいている「コツ」や「知恵」にふれた経験、新しいことに挑戦で

きた事例などから、子どもたちが家庭の中で豊かな経験を重ねていることが伝わってきます。冬休みも、家族でいっしょに取り組んだり、励ましたりしながら、子どもたちが自主的・自律的な生活を送ることができるように、ご理解とご協力をお願いいたします。

1・2年生用のカード

3～6年生用のカード

## ■ 就学援助制度について

養父市では、お子様を就学させる上で経済的に困りの方に対して、就学に必要な費用の一部を援助する制度があります。この度、令和8年度の就学援助制度の申請受付が始まりました。申請についての相談等も含め、ご不明な点は学校にお問い合わせください。

## ■ 教職員が一斉に年次休暇等を取得する日について

12月26日（金）、1月5日（月）を、教職員が一斉に年次休暇等を取得する日とします。この間、学校との連絡が必要な場合は、養父市こども学び課（Tel：664-1627）まで連絡してください。（受付：午前8時30分から午後5時15分）

## ■ 目の不自由な方から学ぶ【4年生】 12月17日

4年生は、視覚障がい（全盲）のある西山郁代さんをお迎えし、学習を行いました。西山さんからは、ご自身の病気のことや、日々の生活の様子についてお話をいただきました。西山さんは、身の回りのことをほとんどご自身でされています。目が見えなくても、楽しく生活していくための知恵や工夫が、生活の隅々にまで行き渡っていることに、子どもたちはとても感動し、その一言一言を真剣な表情で受け止めていました。

授業後に校長室で、西山さんは「全盲になった頃と比べると、世の中の福祉に対する認識や環境は大きく変わりました」と話されました。「昔は、私たちにどう接したらよいのか、わからない人が多かったのだと思います」という言葉から、福祉学習を通して、さまざまな立場の人への理解を深めることの大切さを改めて実感しました。互いにわかり合おうとすることが、よりよい社会をつくっていくのだと感じます。



リンゴの皮むき。見事な手さばきに子どもたちの視線が釘付けです

### 1月のおもな行事予定

1日 (木) 元日	15日 (木) 登校指導
5日 (月) 教職員が一斉に年次休暇等を取得する日	16日 (金) 児童朝会 1.17 追悼集会 一斉下校 14:55 新1年生入学説明会 14:00
7日 (水) 登校指導 始業式 校外児童会 一斉下校 11:45 下校指導	21日 (水) 一斉下校
8日 (木) 給食開始 SC相談日（午前）	22日 (木) 第3回6年生中学校登校
9日 (金) 全校朝会 書き初め大会③④ 委員会活動	23日 (金) 一斉下校 14:55
12日 (月) 成人の日	27日 (火) わんぱくタイム
13日 (火) わんぱくタイム 代表委員会	28日 (水) そうあんくんの日 一斉下校 13:30 スーパーそうあんくんクラブ
14日 (水) そうあんくんの日 一斉下校 14:55	29日 (木) スキー教室 4~6年 15:50 下校 1~3年 15:55 下校

校長室で、西山さんにとって、音がいかに大切なものであるかという話になりました。「季節を感じる風の音を聞き、山から聞こえる鳥の声を聞き、小川のせせらぎを聞きながら生活しています」とおっしゃいました。西山さんが、私などとは比べものにならないほど、日々の暮らしの中でさまざまなものを味わい、感じ取りながら生活しておられることが伝わってきました。

お話を聞きながら、以前見た、全盲のミュージシャン、レイ・チャールズの伝記映画「Ray」の一場面を思い出しました。視力を失ったレイが、聞こえてくるわずかな音だけを頼りに、コオロギを捕まえる場面です。かすかな音を聞き逃さず、温度や風の変化、手ざわりなどを手がかりに、想像力をめいっぱい働かせてコオロギを探し当てるのです。視力に頼らない生活の中で、必要に応じた工夫や感覚の使い方を身につけたのでしょう。視力以外の残された感覚をフルに使い、自立して生きていくレイの姿は、強く心に残っています。

私たちはつい、「ある・ない」で物事を考えてしまいがちですが、大切なのは、それぞれが置かれた状況の中で、どう生きていくかということなのだと思います。目があっても見えていないこと、耳があっても聞こえていないこと、心があっても感じ取れていないことが、私たちの周りには多くあるのかもしれませんが。人や自然を感じ取る力は、誰かとつながり、よろこびを生み出す力でもあります。西山さんとの出会いは、子どもたちにとって、そして私たち大人にとっても、「見ようとする心」「聞こうとする心」を改めて見つめ直す、かけがえのない学びの機会となりました。